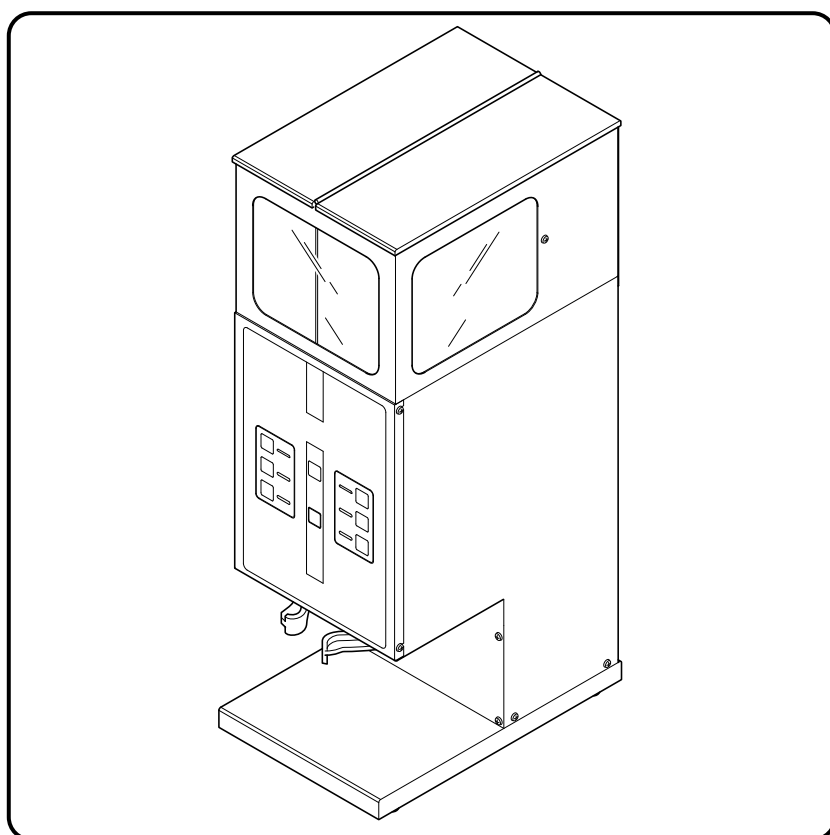


グラインダー【カーティス】  
ILGD-10JP（業務用）



取扱説明書



- このたびは、当社のグラインダー【カーティス】をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必ずいつも手元においてご使用ください。
- 保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

# 目 次



安全上のご注意	1
仕様	7
各部の名称	8
操作スイッチパネル	9
据付けについて	10
操作手順	11
コーヒーマシンのメッシュ調整	13
コーヒーマシンの挽き時間（量）の設定変更	14
お手入れについて	15
故障の診断と手当	16
商品保証書	21

# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。




**表示と意味は次のようになっています。**

## 注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## 図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の近くや中に絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

## ⚠ 警告

- 据付工事は、お買上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、感電、火災の原因になります。



専門業者

- アース工事を必ずおこなうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。  
(電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)



アース工事

- 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になることがあります。



電気工事

- 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



屋外禁止

- 湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

- 本体に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆、故障の原因になります。



水掛け禁止

- 電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

## 警告

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検清掃

- 漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF（切）』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON（入）』にすると、感電や火災の原因になります。



連絡

- 機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

感電する恐れがあります。



接触禁止

- 濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。



濡手禁止

- 異常時は、ON / OFFスイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くか（電源プラグ使用の場合）、本機専用電源を『OFF（切）』にしてすぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。



専用電源切

- お使いのガス器具がある場合、ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

引火爆発し危険です。



ガス栓閉

- ミルカッターの回転中は、ホッパーの中からカッター内部に指、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガおよび故障の原因になります。



挿入禁止

- ホッパーの中に手を入れるときは、ON / OFFスイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くこと

誤ってON / OFFスイッチに触れた場合、ケガをする恐れがあります。



専用電源切

## 警告

---

- 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

---

- 改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、感電、火災の原因になります。



改造禁止

---

- 移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

据え付け不備があると、感電、火災の原因になります。



専門業者

---

- 廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。



専門業者

---

## ⚠ 注意

- 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平据付

- 本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。



禁止

- 電源プラグは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

- 熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

発火の原因になることがあります。



可燃物禁止

- 清掃するときや点検のときは、必ずON / OFFスイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くこと

感電したり、ケガの原因になることがあります。



専用電源切

- 洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に拭き取ること

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になることがあります。



拭き取る

- 一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



専用電源切

## ⚠ 注意

---

- 漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。



動作点検

---

- このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

---



# 仕 様

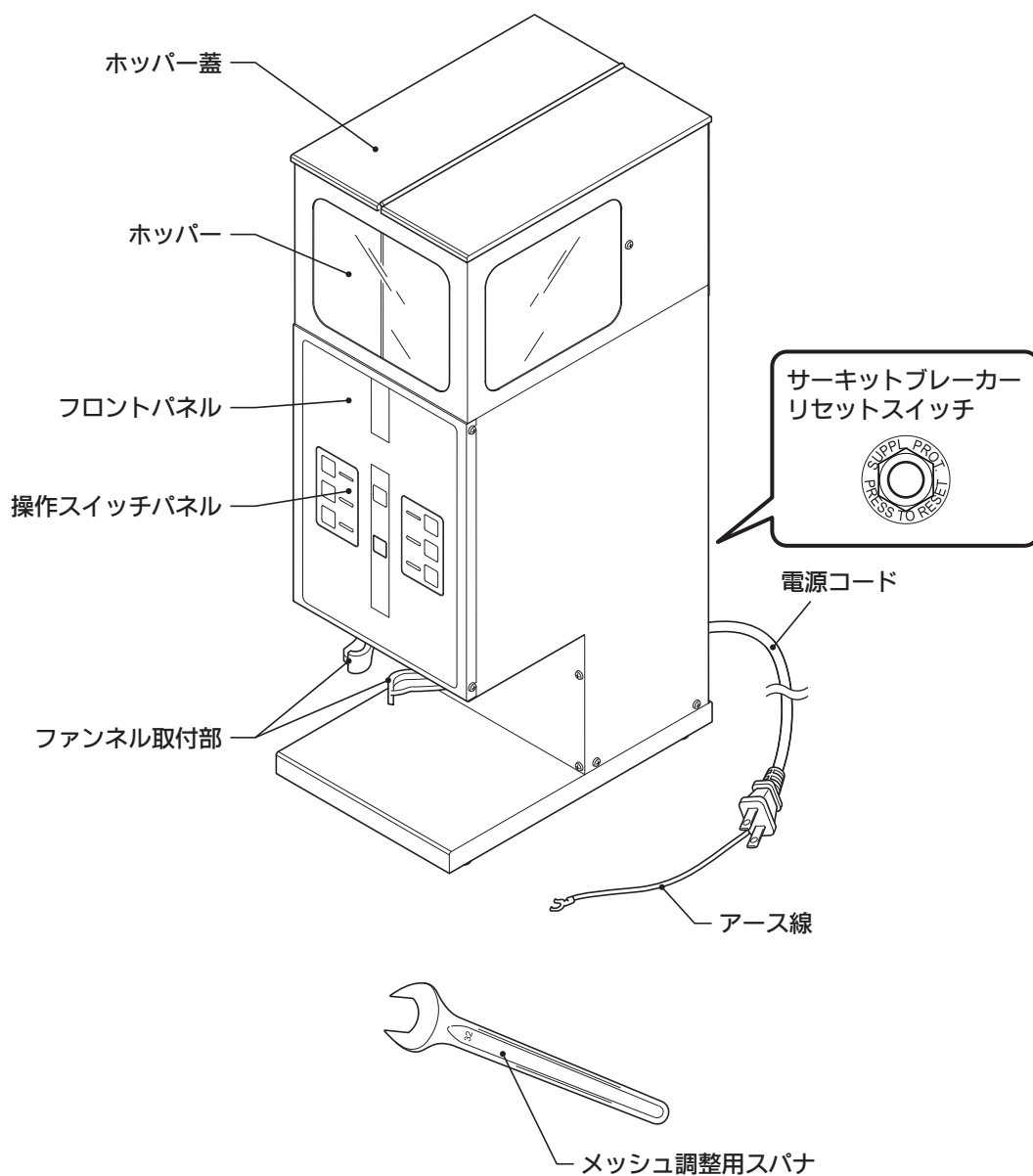
品 名		グラインダー【カーティス】
型 式		ILGD-10JP
外 形 寸 法		幅 255・奥行 368・高さ 748mm (突起物を含む 奥行370mm)
電 源		100V 50/60Hz
電 流		6.5A (3分定格)
消 費 電 力		530W
安 全 装 置		サーキットブレーカー付 (10A)
ホッパー容量		2.5kg (コーヒー豆量) ×2
材 質	本 体	ステンレス
	ホ ッ パ ー	ステンレス、アクリル
質 量		25kg
電 源 コ ー ド		長さ：2.5m

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

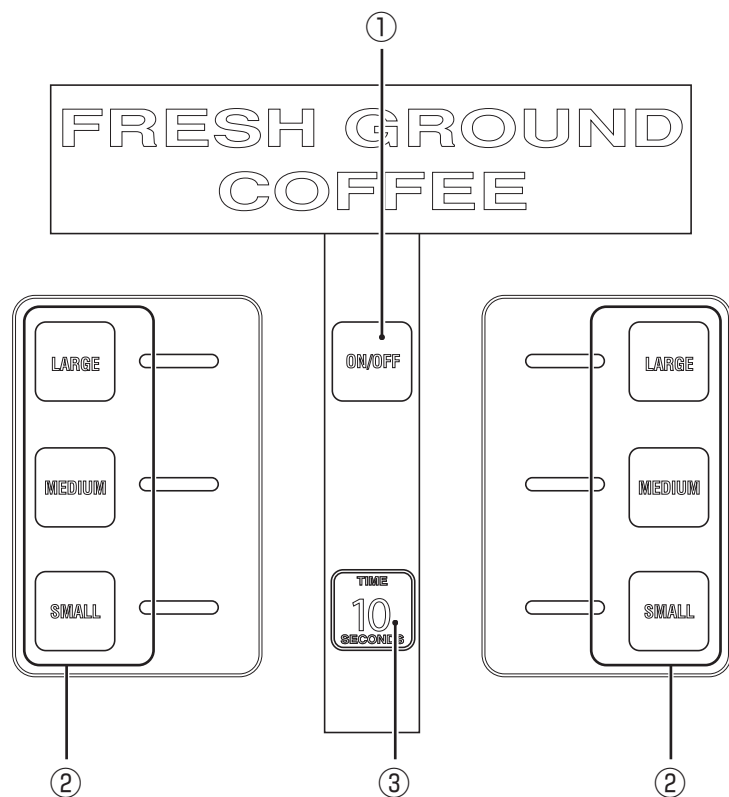
付 属 品	・メッシュ調整用スパナ ..... 1本
-------	----------------------

# 各部の名称

●本機は、コーヒーマシン専用にコーヒー豆を挽く機械です。



# 操作スイッチパネル



①ON/OFFスイッチ……本機の電源をON/OFFします。

②ミルスイッチ……コーヒー豆を挽きます。

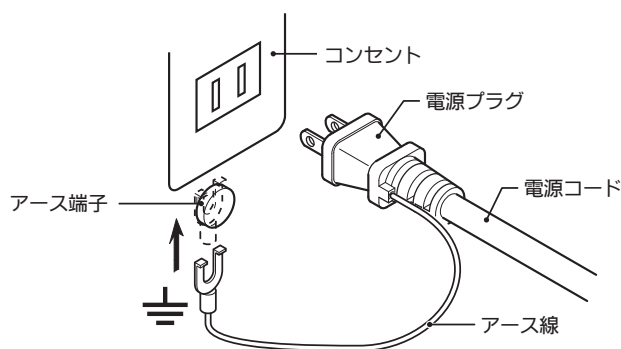
LARGE、MEDIUM、SMALLを選択できます。

③ディスプレイ……ミルスイッチが押されると、設定されたコーヒー豆の挽き時間を表示し、0になるまでカウントダウンします。

また、挽き時間の設定変更時に、挽き時間を表示します。

# 据付けについて

1. 水平で丈夫な調理台に、据え付けてください。  
調理台が傾斜していたり不安定ですと、転倒する恐れがあり危険です。
2. 電源を接続してください。  
本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用してください。
3. 本機は、コンセントに電源コードを接続した場合、コードに余裕があるようにして操作してください。（電源コードの長さ：2.5m）
4. 水が掛からないところに据え付けてください。  
本体と電源コードに水がかかりますと、漏電、感電の原因になります。
5. アースは必ず取ってください。  
アースは、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。  
ガス管、水道管、電話のアース線、避雷針などには危険ですから絶対にアース線を接続しないでください。アース線は、電源プラグより出ている緑色の線です。
6. アース線をアース端子に接続してください。
7. ご使用の際は、本機専用のコンセントに電源プラグを差し込んでください。



# 操作手順

## ご使用前の準備をする

ホッパーの中と、コーヒー粉取出部を清掃してください。

15 ページ参照

## 電源を入れる

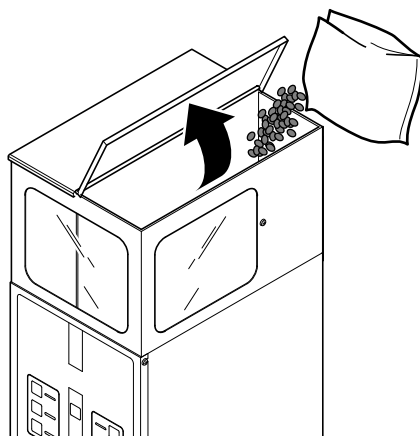
1. 本機専用電源を入れてください。
2. 操作パネルのON/OFFスイッチを「ON（入）」にします。



## コーヒー豆をホッパーに入れる

ホッパー蓋を開けて、コーヒーを入れてください。

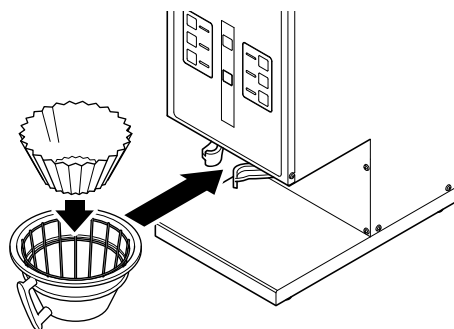
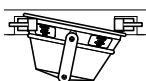
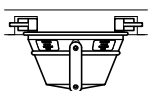
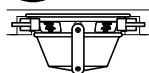
ホッパー内には、最高5kg（2.5kg × 2）のコーヒー豆が入ります。



## コーヒー豆を挽く

1. ファンネルにフィルターをセットしてください。
2. ファンネルを本機にセットしてください。




**【注意】** ファンネル取付部に正しく取り付けてください。  
正しく取り付けがされていないと、動作中に外れます。



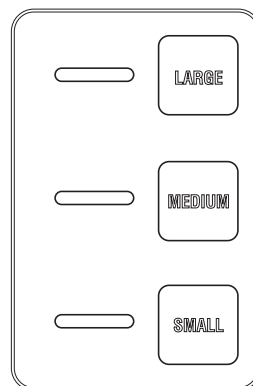
3. ミルスイッチを押し、コーヒー豆を挽いてください。

- 1) ミルスイッチは、「LARGE」「MEDIUM」「SMALL」の3種類あります。

#### 《コーヒー豆挽きの目安》

	コーヒー豆を 30 秒間（約 270g <sup>※</sup> ）挽きます。
	コーヒー豆を 20 秒間（約 180g <sup>※</sup> ）挽きます。
	コーヒー豆を 10 秒間（約 90g <sup>※</sup> ）挽きます。

※ご使用の環境や豆、メッシュにより、コーヒー豆を挽く量は変わります。



- 2) コーヒー豆が挽かれます。

ディスプレイの数値がカウントダウンします。

**【注意】** ディスプレイの数値が0になっても、すぐにファンネルを抜き取らないでください。ディスプレイの数値が0になった後も約10秒間はミルモーターが回転しているため、コーヒー粉がこぼれ出てしまいます。

4. 機械が止まったらファンネルを抜き取ってください。

## 電源を切る

1. ご使用後は、ON / OFFスイッチを押して、電源を切ってください。



2. 電源プラグを抜いてください。

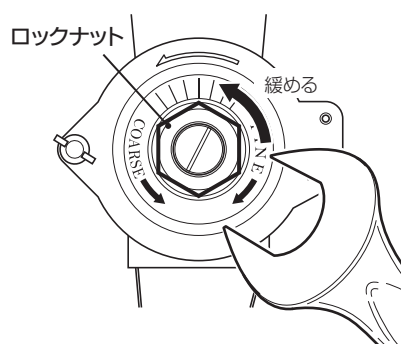
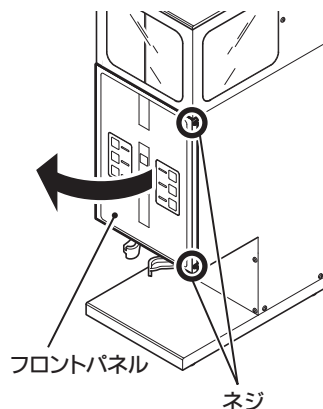
3. 清掃をおこなってください。

15 ページ参照

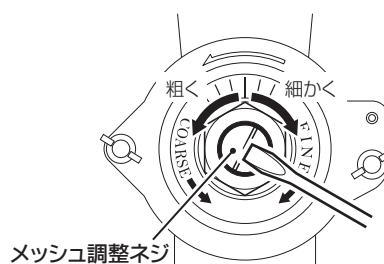
## コーヒーのメッシュ調整

コーヒー粉のメッシュを変えたい場合は、下記の手順にしたがって調整してください。

1. メッシュ調整用スパナ（付属品）とマイナスドライバー、プラスドライバーを用意してください。
2. ホッパーからコーヒー豆を取り出してください。
  - 1) ホッパー内のコーヒー豆を取出します。
  - 2) ホッパーの底に残ったコーヒー豆は、機械を稼働させて取り除きます。
3. 2箇所のネジをプラスドライバーで緩め、フロントパネルを開けてください。
4. メッシュ調整用スパナ（付属品）を使ってミル部分のロックナットを緩めてください。



5. マイナスドライバーを使って、メッシュ調整ネジを回してください。
  - 細かくする場合……時計方向に回す。
  - 粗くする場合………反時計方向に回す。



6. 調整したら、ロックナットを締め付けて固定してください。
7. 少量のコーヒー豆をホッパーに入れて機械を稼働させ、粗さを確認してください。まだ調整が必要な場合は、「4.」からの作業を再度おこなってください。
8. 調整ができましたら、フロントパネルを閉めてネジを締め付けてください。

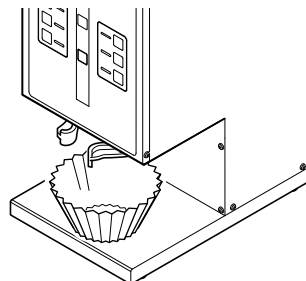
※コーヒー粉の粗さを調整すると、コーヒー豆の挽き量が変わることがあります。

## コーヒーの挽き時間（量）の設定変更

コーヒーの挽き時間（量）を変えたい場合は、下記の手順にしたがって設定変更してください。

1. 挽いたコーヒーを受け取るためにコーヒー粉出し口の下にペーパーフィルターを置いてください。

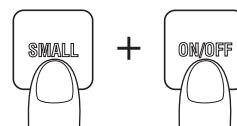
※ 本機は、コーヒー豆を挽いた時間内に出た量をコーヒーの挽き量として設定します。



2. ON / OFFスイッチを押して、電源を切ってください。



3. 設定変更したいミルスイッチを押しながら、ON / OFFスイッチを押してください。



4. ミルスイッチを押した状態のまま、ON / OFFスイッチから指をはなしてください。

- 1) 数秒後、ディスプレイに「00」が表示され、ミルモーターが回転します。



- 2) ミルスイッチを押し続けているとディスプレイの数値が増えていきます。  
最大「99」（秒）まで設定できます。



5. 設定したい時間に達したら、ミルスイッチから指をはなしてください。

- 1) 約10秒後、ミルモーターが停止します。

- 2) 設定時間をもう少し増やす場合は、同じミルスイッチを再度長押しします。

6. ミルモーターが停止したら、他のミルスイッチを押してください。  
設定変更は、完了です。

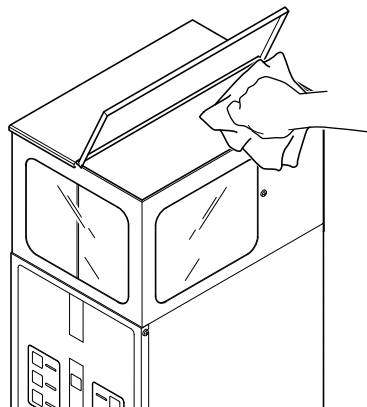
※ 他のミルスイッチの設定変更をする場合も、上記の手順でおこなってください。



# お手入れについて

【いつも安全で清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、作業終了後は各部を清掃してください。】

1. 本体各部（ホッパー内部、ホッパー蓋、粉取出部など）に付着しているコーヒー粉は、柔らかい刷毛やブラシで払い落とし、柔らかい布で拭いてください。
2. 本体周辺に飛び散った粉は、掃除機で吸い取ると清潔になります。



## お願い

1. 本体の清掃の際は、必ずON / OFFスイッチを切って、電源プラグを抜いてください。
2. 本体は絶対に水洗いしないでください。  
故障や漏電の原因になります。
3. 清掃をするとき、クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使わないでください。  
キズがついたり、破損の原因になります。

# 故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを切って機械を止め、本機専用電源も『OFF（切）』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。

※ご連絡の場合は、本機の型式名・機番・お買上げ日・故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

状 態	診 断	手 当
ミルスイッチを入れても コーヒー豆を挽かない。 (※電源ランプが点いていない場合)	ON / OFFスイッチが『OFF（切）』になっていませんか？	『OFF（切）』になっているときは、 『ON（入）』にしてください。
	本機専用電源が『OFF（切）』になっていませんか？	『OFF（切）』になっているときは、 『ON（入）』にしてください。
	機械内部のサーキットブレーカーが作動している可能性があります。	機械背面のサーキットブレーカーリセットスイッチを押してください。 電源が入りましたら、13ページの「コーヒーのメッシュ調整」を参照して、メッシュを粗くしてからコーヒー豆を挽いてください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	漏電遮断器が切れていませんか？	『OFF（切）』になっている場合は、 お買上げ店へ連絡してください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
ミルスイッチを入れても コーヒー豆を挽かない。 (※電源ランプが点いている場合)	モーター保護装置が動作している可能性があります。	電源スイッチを切り、本機専用電源を『OFF（切）』にして、時間を置いてから再度電源を入れてください。
	ミルカッターが、目詰まりしている可能性があります。	13ページの「コーヒーのメッシュ調整」を参照して、メッシュを粗くしてからコーヒー豆を挽いてください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
本体から異常音が発生する。	丈夫な所に設置していますか？	不安定な場合には、お買上げ店へ連絡してください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	カッター部に異物が噛み込まれていませんか？	電源スイッチを切り、本機専用電源を『OFF（切）』にして、カッター部の異物を取り除いてください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。

状 態	診 断	手 当
コーヒー粉のメッシュが粗すぎる。	ミルカッターが、目詰まりしている可能性があります。	13 ページの「コーヒーのメッシュ調整」を参照して、メッシュの調整をおこなってください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	ミルカッターが摩耗している可能性があります。	
コーヒー粉のメッシュにバラツキがある。	ホッパー内のコーヒー豆の量が少なすぎる、または多すぎる可能性があります。	ホッパー内の豆の量を調整してください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF (切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF (切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。レバーが「OFF (切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON (入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードが異常に熱くなる。	電源コードを束ねていませんか？	電源コードを束ねている場合は、解いてください。
	電源コードをものなどで挟み込んでいませんか？	電源コードを挟み込んでいるものを取り除いてください。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

# エフ・エム・アイ商品保証書

《本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。》

## 保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。  
その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

## 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店が「**無料修理**」いたします。
- 無料修理を受ける場合は、お買上げ店にご依頼のうえ、出張修理に際しまして本書をご提示ください。
- 保証期間内でも次の場合には「**有料修理**」となります。
  - ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
  - 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
  - 車輛、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
  - お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
  - 本書の提示がない場合。
  - 本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - 指定外の使用電源（電圧、周波数）の使用による故障および損傷。
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。
  - 消耗部品（ミルカッター）は、保証の対象範囲から除外させていただきます。

※ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。  
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

## 修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）

当社では、本製品の修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を販売打ち切り後8年とさせていただきます。修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を終了している場合、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

品 名		グラインダー 【カーティス】		
型 式		ILGD-10JP	製造番号	
お 客 様	ご 芳 名	様		
	ご 住 所	〒 TEL. ( )		
お 買 上 げ 店	店名・住所			
お買上げ日	年 月 日	無料修理保証期間	お買上げ日より1年間	

# 株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

PB